

平成27年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

日時：平成27年8月9日（日）12：00～14：00

場所：九州歯科大学病院棟第3、4会議室

出席者：牧 憲司、奥 猛志、尾崎正雄、野中和明、藤原 卓、山崎要一、増田啓次、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、石井 香、柏木 伸一郎、田中克明、行成哲弘、京極絵美、木船敏郎、井上浩一郎、重田浩樹、橋本敏昭、入江英仁、佐伯 桂、大倉秀一郎、品川光春、石谷徳人、柳田憲一、西田郁子

欠席者：竹島 勇、空田安博、品川光春、久芳陽一 (敬称略)

1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

3. 報告事項

1) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

資料1を参考に、柳田先生より準備状況が報告された。

メインテーマ：小児歯科における医療連携

日 時：平成27年11月15日（日）

場 所：福岡県歯科医師会館

大会長：柳田 憲一（福岡市立こども病院）

大会長補佐：野中 和明

準備委員長：増田 啓次

事務局：九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野

1. 基調講演：「小児医療の進歩—現状と今後の課題—」（福岡市立こども病院 名誉院長 福重 淳一郎 先生）

2. 特別講演：「Education, Clinical Activity, History as well as Future Strategy for the Patient in Special Need Dentistry at North Carolina」（ノースカロライナ大学 小児歯科 Tim Wright 教授）

3. シンポジウム：より安心・安全な小児歯科医療を目指して

1) 「妊娠中の歯科治療とくすり」

月森 清巳 先生（福岡市立こども病院 周産期センター長）

2) 「児童精神医学の領域からのポイント」

吉田 敬子 先生（九州大学病院 こどものこころの診療部 特任教授）

3) 「小児がん治療の現状と晩期合併症」

古賀 友紀 先生（九州大学病院 小児科 助教講師）

- 4) 「小児領域において知っておきたい医療安全管理—異物の誤嚥・誤飲を中心に—」
永田 公二 先生 (九州大学病院 小児外科 助教)
4. 衛生士セミナー：障害児（者）および有病児への歯科的アプローチ
- 1) 「自閉症児に効果のあるリラックス法」
立川 義博 先生 (佐賀整肢学園こども発達医療センター歯科室長)
- 2) 「衛生士と、地域における障害者および有病者の関わり」
廣田 和子 先生 (廣田歯科 歯科医師)
- 3) 「未来にむけての取り組み」
渡辺 善久 先生 (きららデンタルクリニック 院長)
- 4) 「当院における有病児への口腔ケアについて」
山下 薫 先生 (九州大学病院 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 歯科衛生士)
5. ポスター発表
- 1) 一般演題発表： 17 題
- 2) 専門医・認定医専門医更新用プレゼンテーション：13 題
- 3) 認定歯科衛生士認定審査：3 題
- 4) その他：歯科衛生士委員会 1 題
社会保険委員会 1 題
6. 懇親会： ソラリア西鉄ホテル 17 階

前日役員会は、19 時より福岡子ども病院会議室にて行う予定である。駐車場も確保している。役員会開催場所の変更要望がある場合は、1 か月前までに柳田準備委員長に連絡することをお願いされた。

- 2) 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について
資料2を参考に井上先生より第34回日本小児歯科学会九州地方会の準備状況が説明された。
日程は平成28年10月30日（日）に決定し、内容については検討中である。
担当校である鹿児島大学山崎教授より協力依頼があった。
- 3) その他
- ①第20回成育歯科医療研究会について
資料3を参考に、奥先生より平成27年9月2, 3日に開催される第20回成育歯科医療研究会についてお知らせがあった。
- ②スタディグループ調査票
資料4を参考に、西田先生よりスタディグループ調査票の結果について報告があった。希望があったスタディグループはホームページに掲載し、ニュースレターは、誌面の関係で順次掲載していく予定であることが説明された。
代表者の小児歯科学会入会状況について確認することとなった。

アンケートの回答が得られていないスタディグループに関しては、再度連絡することとした。

4. 議長選出

牧会長より石谷徳人先生が議長に選出された。

5. 審議事項

1) 平成28年度九州地方会会長および監事の選出について

牧会長より九州地方会会則に従い、次期会長に奥猛志先生を推薦され、承認された。監事は引き続き入江先生と久芳先生が推薦された。入江先生より、既に2期担当しているため、新しい方に担当して頂きたいと述べられた。監事に関しては、次期役員会へ持ち越しとなった。

また、牧会長より、地方会会長の選任に関して、大学教授の任期を考慮してはと提案があり、次期役員会で検討することとなった。

内定された奥次期会長より挨拶があった。

2) 大分県、鹿児島県における小児歯科研修会開催企画について

牧会長より小児歯科研修会開催企画について説明があった。

大分県では、障害者（児）に関する講演依頼があり、鹿児島大学・佐藤秀夫先生、九州歯科大学・森川和政先生の講師派遣が決定した。日程については検討中であることが報告された。

重田先生より、地域歯科委員会とタイアップし、食育に関する講演要望があり、「小児歯科から食育を考える」というメインテーマで行う予定である。日程は、平成28年2月20日（土）16:00~18:00、講師は山崎要一先生、佐藤秀夫先生である報告があった。

以上、研修会について、承認された。

来年度は、長崎県が内定しており、藤原先生より五島で開催できるよう調整中であることが報告された。

3) 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会について

牧会長より第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の担当校として長崎大学が推薦され、承認された。

長崎大学の藤原教授より、佐賀県で開催予定であることが報告された。

4) 九州地方会事業及び予算に関する検討委員会について

資料7を参考に、牧会長より説明された。

③MIH調査

野中先生よりMIH調査についての詳細についての質問があった。

木船先生より、各調査委員が選出され、連絡を待っている状態であることの報告があった。また、調査は無作為で行われるのかの質問があった。

臨床研究推進委員会所属の星野先生より、今回の調査は、人口あたりで調査人数を

決定しており、無作為であること、倫理申請に関しては、大学の倫理委員会に申請することと、調査参加開業医の名簿を作成して、倫理申請を行うこととなるため、調査開始はもう暫く時間がかかることの説明があった。

野中先生より、大学で得られたデータはバイアスがかかっている可能性があるため、臨床研究推進委員会で検討して頂きたいとの要望があった。

②優秀発表賞

意義、選考方法、選考委員の選出等について意見が出された。

牧会長より、たたき台を作製し、今後検討して頂くことの提案があった。

以上の項目に関して承認された。

5) その他

牧会長より、子ども健康週間に関して、市民公開講座など報告してほしいと述べられた。次回地方大会においても会員増加のため、入会用ブースを設けてほしい、各県開催での研修会においても入会促進に努めてほしいと述べられた。

本部よりの報告として、山崎先生より、厚労省のヒアリングについて報告があった。

口唇力測定とコーティングについて、提出している。口唇機能の計測評価に関して、9～10月に松風から機器が発売予定である。

グラスゴーの国際小児歯科学会について報告があった。2年後はチリのサンチアゴで開催されることが報告された。

藤原先生より、平成28年5月26, 27日に開催されるAAPDについて説明があった。

参加費は歯科医師3万円、衛生士6～7千円予定である。演題登録は11月ころ始める予定である。衛生士セッションは、昭和大学の弘中先生、食育のセッションは木本先生に依頼している。

木船先生より、パノラマ撮影は診査に重要な項目のため算定できるようにしてほしいとの要望があり、藤原先生、山崎先生より実現できるよう働きかけていきたいと述べられた。

6、総 評

入江先生より、優秀賞について若手は奨励賞、長年やっている方には2通りで行ってはいかがでしょうか。順調に会務が進んでいるが、次期公益法化への事務処理が齟齬なく進むようにしてほしいと述べられた。

7、閉会の辞

尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。